

阪大理系女、企業と初の交流会

100人の院生と19社が対面

大阪大学の理系女子の院生と19社・機関が対面で交流した。交流会が11月13日、同大吹田キャンパス内の銀杏会館で行われ、100人超(うち留学生21人)

の院生と19社・機関が対面で交流した。交流会が11月13日、同大吹田キャンパス内の銀杏会館で行われ、100人超(うち留学生21人)



ポスター発表を行った大川さん

子さんは「鋼板と樹脂の重ねレーザ溶接による熱伝導および熱応力の解析」をポスター発表した。現在は船舶海洋工学コースで勉強しており、環境規制が厳しくなる造船分野について「新しい技術が生まれる時だと思う。将来

の就職は造船のことでも他にも応用できることを学んだので(就職対象は)分野を限らずとを学んだので(就職対象は)分野を限らずとを学んだので(就職対象は)分野を限らずとを学んだので

接合研出身で現在は側も聞くことも絞りや

を随時実施している。



阪大接合研出身の佐野さん

「すい」と述べた。学生に伝えたいことを問うと、「就職活動中は『女性としてキャリア』を大きな問題として考えていたけれど、会社に入ってみたら、今ないものは作ればいいと思うようになった。それよりも自分がどうしたいかを軸に考えた方がいいと思う」と語っている。